



## 放射光セミナー

- 題目：ダイヤモンドの特性と新しい応用  
 講師：藤森直治氏（(独)産業技術総合研究所・ダイヤモンド研究センター）  
 日時：2009年9月10日（木）16:00～
- 題目：マルチフェロイック酸化物における電気磁気特性  
 講師：山崎裕一氏（PF）  
 日時：2009年10月19日（金）16:00～
- 題目：銅酸化物、鉄系高温超伝導体の電子構造：角度分解光電子分光  
 講師：吉田鉄平氏（東大院理学系研究科）  
 日時：2009年10月23日（金）13:30～
- 題目：Production and utilisation of NEG coatings at the ESRF  
 講師：Dr. Michael Hahn (Vacuum Group, ESRF)  
 日時：2009年11月5日（木）13:30～
- 題目：From seconds to picoseconds -selected applications of time resolved Xray diffraction in materials science and beyond  
 講師：Dr. Klaus-Dieter Liss (ANSTO)  
 日時：2009年11月9日（金）11:00～

最新の情報はホームページ  
 (<http://pfwww.kek.jp/pf-seminar/>) をご覧下さい。

## 第29回物質構造科学研究所運営会議議事次第

日時：平成21年7月27日（月）15:30～  
 場所：高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室

- 【1】人事選考
1. 特定教員人事 特任助教（席上配付）
  2. 教員人事 放射光 1名（物08-12）
- 【2】所長報告
1. 組織等について
    - ・人事異動
    - ・研究員の選考結果について
- 【3】協議
1. 教育研究評議会外部評議員について
  2. 自己評価委員会外部委員について
  3. 教員人事選考手続きについて
  4. 教員公募 ミュオン 准教授 1名
  5. 教員公募 ミュオン 博士研究員 1名
  6. 教員公募 中性子 助教（再公募）1名
  7. 教員公募 講師 1名
  8. 放射光共同利用実験課題の審査結果について
  9. 放射光共同利用実験審査委員会委員について
  10. 平成21年度中性子共同利用S型実験課題の審査結果について
  11. ミュオン共同利用実験審査委員会委員について

## 【4】研究活動報告（資料配付のみ）

1. 素粒子原子核研究所報告
2. 物質構造科学研究所報告
3. 加速器研究施設報告
4. 共通基盤研究施設報告

## 第30回物質構造科学研究所運営会議議事次第

日時：平成21年10月15日（月）13:30～  
 場所：高エネルギー加速器研究機構 管理棟大会議室

### 【1】報告事項

1. 所長報告
2. J-PARC 報告
3. J-PARC 加速器の現状について

### 【2】協議

1. 教員公募 中性子 特任准教授 1名
2. 教員公募 中性子 特任准教授 1名
3. 教員公募 中性子 特任助教 1名
4. 教員公募 放射光特別教授 1名
5. 教員公募 放射光特別助教 1名
6. 平成21年度物質構造科学研究所中性子共同利用S型実験課題の審査結果について

### 【3】施設等報告

1. 施設報告
  - ①放射光報告
  - ②中性子報告
  - ③ミュオン報告
  - ④構造物性研究センター報告
  - ⑤ERL計画推進室報告
2. その他
  - ①平成22年度概算要求について
  - ②放射光共同利用実験課題の審査結果（U型）について
  - ③放射光共同利用実験課題の審査結果（条件解除）について

### 【4】研究活動報告（資料配付のみ）

1. 素粒子原子核研究所報告
2. 物質構造科学研究所報告
3. 加速器研究施設報告
4. 共通基盤研究施設報告

## 施設留保ビームタイム採択課題一覧 (2009 年度前期)

課題番号	申請者	所属	カテゴリー	課題名	ステーション	希望ビームタイム
2009R-01 (2008S2-001)	月原 富武	大阪大学	F	ターゲットタンパク研究プロジェクト	NW-12A	14 時間
2009R-02 (2008G075)	玉田 太郎	JAEA	A	X線と中性子を相補的に用いた蛋白質水和水自動同定法の開発	6A	24 時間
2009R-03 (2008G163)	若槻 壮市	PF	A	Rab5 様低分子量 GTPase の構造解析	NW12A	24 時間

## 【施設留保ビームタイム申請カテゴリー】

- A. 故障等に対するビームタイムの補填。やり残した実験の補充。 B. ビームライン・実験装置の性能向上を速やかにする。  
 C. U 型課題の受付をし、重要な研究の計画から成果公表までの時間を短縮する。 D. 新規ユーザー開拓への活用（実習、試行実験等）。  
 E. 受身の共同利用から能動的な共同利用へ。 F. 施設としての柔軟性の確保。

## 内部スタッフ・大学院生優先ビームタイム採択課題一覧 (2009 年度前期)

課題番号	申請者	所属	課題名	希望ステーション	希望ビームタイム
2009PF-01	小谷 佳範	総研大	遷移金属酸化ナノシートの局所構造の研究	7C, 9A, 9C, 12C	24 時間
2009PF-02	上村 洋平	特別共同利用 研究員	In situ XAFS 測定のための新型セルの実触媒測定による性能評価	NW2A	96 時間
2009PF-03	小出 常晴	PF	Fe を含む新超伝導体の高分解能 XAS と常磁性 XMCD の測定の試み	16A	6 日間
2009PF-04	小出 常晴	PF	長周期構造磁性体の軟 X 線共鳴磁気散乱磁気円二色性の予備実験	16A	6 日間
2009PF-05	隅井 良平	博士研究員	$\text{Li}_x\text{Ni}_{2-x}\text{O}_2$ の電子構造とメタンの選択的反応制御	7B	14 日間
2009PF-06	杉山 弘	PF	ILC 常伝導加速空洞用単結晶銅材料の単色 X 線トポグラフ法による評価	2A	1 日間